

【2月17日（日）羽幌タイムス】

|| 羽幌高野球部とゆきんこ ||
しあわせ荘の非常口すつきり



【羽幌】羽幌高校野球部（扇田空主将）とポランティアゆきんこ（工藤匠代表）は十六日、特別養護老人ホームしあわせ荘の非常口の除雪に汗を流した。

扇田主将（二年）によると、夏の大会を終えて三年生が引退、先輩たちの助言もあつて、「日頃から支えてもらっている地域のために少しでも恩返したい」と、しあわせ荘での除雪ボランティアを決めた。マネージャーを含め四人、冬期間の体力づくりにもプラスだ。

ゆきんこから三人が参加している。

作業は午前九時から約二時間、十カ所の非常口前をスツキリさせ、外壁の下に吹き溜まって、こびりついて固い雪をスノードンプで取り除いた。

この日は暖かく、雲間からの日射しも心地よい、爽やかな天気となつて高校生の頑張りを後押しした。

非常口は利用者の安全、安心を確保するための要の一つ、職員は毎日、通路をチェックし、除雪は欠かせない。広くなったスペースに「とてもありがたい」と感謝しきりだった。

羽幌町社会福祉協議会の皆様、本当にありがとうございました。